

## 急性期虚血性脳卒中の再開通療法における施設間医療連携に関する調査研究 (Part1, Drip & Ship 法に関する調査研究) (Part2, MTに関する調査研究)

### 1. 研究の対象

2016年1月1日から2019年12月31日の期間に、発症または最終健常時刻から24時間以内に血管内治療：機械的血栓回収療法（mechanical thrombectomy; MT）を施行した急性期虚血性脳卒中の方およびDrip & Ship法（急性期虚血性脳卒中の発症後に医療機関1でrt-PA静注療法（IV tPA）または診断し、医療機関2に転送してMTを行う）をおこなった方

### 2. 研究目的・方法

超急性期脳梗塞に対する、適正使用指針に基づいたMTは、IV tPAとならんで有効性が確立された治療法であり、患者さまの転帰を向上させるために、本療法では発症からできるだけ早く再開通をえることが求められています。脳卒中の急性期診療体制における施設間連携体制構築のための研究班では、医療機関が連携して再開通療法をおこなった患者さまのデータを調査してその実態を明らかにすることで安全性を確認することを目的としています。

研究実施期間：臨床研究倫理委員会承認後から2020年3月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報（年齢・性別のみ）

治療実施日、実施施設名、治療経過の時刻、病状、CT・MRI・血管撮影の画像検査所見など

### 4. 予想される臨床上の利益（効果）および不利益（副作用など）について

対象となる患者さまの診療に関する記録を集めますが、特別な治療や検査を行うことはありませんので、患者さまに直接何らかの利益または不利益が生じることはありません。

### 5. 外部への試料・情報の提供

研究代表施設へのデータ提供は匿名化をし、特定の関係者以外に知られることはありません。対応表は当院の研究責任者が保管・管理します。

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理

人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

大阪市立総合医療センター 脳血管内治療科 寺田 愛子  
大阪市都島区都島本通 2-13-22  
TEL：06-6929-1221

研究代表者（主任研究者）：

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科 坂井 信幸

分担研究者

九州大学医学研究院	飯原 弘二
岩手医科大学医学部	小笠原 邦昭
国立病院機構九州医療センター	岡田 靖
山口大学大学院医学系研究科	鈴木 倫保
東北大学大学院医学系研究科	富永 悌二
国立研究開発法人国立循環器病研究センター	豊田 一則
熊本市民病院	橋本 洋一郎
聖マリアンナ医科大学	長谷川 泰弘
筑波大学	松丸 祐司
京都大学大学院医学研究科	宮本 享
兵庫医科大学	吉村 紳一